

令和6年度に関する学校関係者評価報告書

上宮太子高等学校
学校関係者評価委員会

1. 令和6年度自己評価結果について

令和6年度学校関係者評価は、昨年に引き続き学校評価関係者が一堂に会して評価を行う従来の方法で実施することができた。

今回使用した資料は以下の通りである。

1. 学校評価に関する規定
2. 『学校評価』について(職員用資料)
3. 令和6年度 学校評価に関する報告書
4. 令和6年度 授業アンケート分析

まず、令和6年度の年間目標として、「浄土宗の教えを基盤としながら、卒業後の人生に役立つ人づくり、人間力の向上」という前提のもと、「基本的な生活習慣を身に着けたうえで、細やかな指導により学力面を向上させ、各コースからの大学合格者数の数値目標や英検の取得目標を実現させること。これらの実現に向けて各部署それぞれが連携して職務に取り組み、各教科が授業力の向上のために研究に取り組むこと。」を掲げ、その目標に向けて各部署それぞれが年間目標を作成し、実施できた内容と課題を10月の中間報告および年度末の報告において評価した。これらのまとめを上記3の報告書に掲載し、その内容が報告された。結果はあくまでも自己評価であるため、部署によっては若干の評価基準の差異が生じている面も存在する。

上記4の「授業アンケート分析」については、例年11月に全生徒を対象に実施している内容が報告され、その結果に基づいた資料の説明と分析結果が提示された。各評価の年次変化を追うため質問項目はおおむね例年通りとしたが、「授業成果」に関しては、4つの項目に分けて実施した。結果については今年度もすべての教科で目標の80%以上をクリアできており、何れの教科も大きく下降するということなく今後も安定して80%を越えることが期待できる。生徒の自主性に繋がる項目については僅かに上昇傾向にあるが、より改善されるよう工夫が必要である。ここで出た結果は、今後、担当者個人や教科会等で検討、活用されるものである。

2. 令和6年度 自己評価結果についての評価

「各部署の目標と評価」に関しては、各部署ともに細かく適切な目標設定をし、各項目に対して適切に対処していると評価できる。また、各部署間で連携をとりその都度うまく対応しているようだ。ただ、部署によっては継続的に改善すべき課題、検討中の課題、時代の流れに合わせて新たに考慮すべき課題も出てきているようなので、今後とも研鑽をしてより良い学校にしていきたい。ICTの活用が進んだことで、学校・保護者・生徒間の連絡も円滑に行える環境が整ってきていることは素晴らしいと言える。

教務部では、各部署と連携をとり、教員間の協力の下で行事を円滑に進めることができている点や実務面で出た課題に対して改善を図ろうとしている点は評価できる。進路指導部内のICT教育推進と連携をとりながら、タブレットを利用した新たな教授法を教職員に紹介し、共有できた。また、コロナ禍後、徐々に海外語学研修を実施できた。

生徒指導部では、生徒会やクラブ生が学校行事に主体的に関わることができるようになってきたことが評価できる。女子生徒の増加に伴い、写真撮影の実施日などには、より配慮が必要ではないか。また、カウンセリングを活用しやすい環境を整えることも重要なことである。

進路指導部では、探究活動が今後の教育活動の重要なポジションを占めていることが指摘された。探究活動を通じた自走できる生徒の育成が、早期の目標の決定や学力向上、ひいては進学実績の向上にもつながっており、学内での探究コンペの実施なども提案された。また、スタディサプリの活用によって成績向上に成功した例などを生徒、保護者に紹介することも、その活用をよりすすめることになるのではないだろうか。

入試対策部では、ミニパンフレットや行事リーフレットなどの配布や、上宮太子に来校して良さを知ってもらおうとする様々な努力の成果が、受験者数の増加として表れており評価できる。小学生や中学1年生向けのイベントやツールがあると、より上宮太子の良さを知ってもらえる機会が増えることが期待できる。

各教科、各学年関係においては、働き方改革を意識した改善も必要である。熱意を持って生徒に対応するのは当然であり、その姿勢は保護者等にも十分に伝わっているが、仕事とプライベートのバランスがうまくとれていることが、よりよい教育活動の源である。また、教育人材の確保といった観点からも重要なことである。

「授業アンケート」に関しては、先生の熱意や公平な対応、生徒の満足度など、ほとんどの項目で毎年高い水準を維持していることは評価できる。生徒の家庭学習面も、課題の設定やICTの活用などが功を奏しているのか、徐々にではあるが向上している。

以上の他に、人権教育、保健室、図書室、広報、事務の各部署の目標と評価について、一定程度の理解が得られた。

保護者、同窓会からたいへん前向きで貴重なご意見をいただくことができ、有意義な話し合いの場となった。よい評価をいただいた部分は自信としてより磨きをかけ、ご指摘を受けた部分については謙虚に受け止め改善していく努力を重ねていきたい。